

# 私たちは未来の防災戦士

宮城県気仙沼市立階上中学校

## 階上地区

- ・ 陸中海岸国立公園の最南端
- ・ 観光地にある半農半漁(第一次産業)の地区
- ・ 地区民約4,800人 13地区(自治会)



★震災の犠牲者 208人(地区住民の4.3%)

★被災家屋 地区の約67%

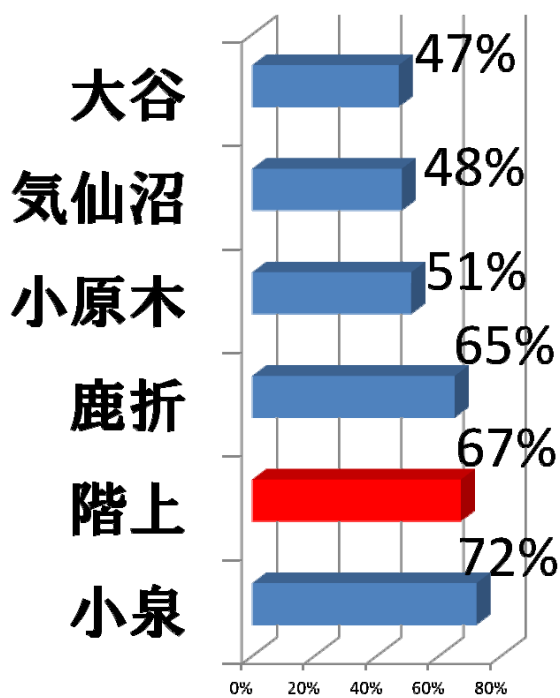
※杉の下地区、川原地区が壊滅・解散

# 杉の下地区の悲劇

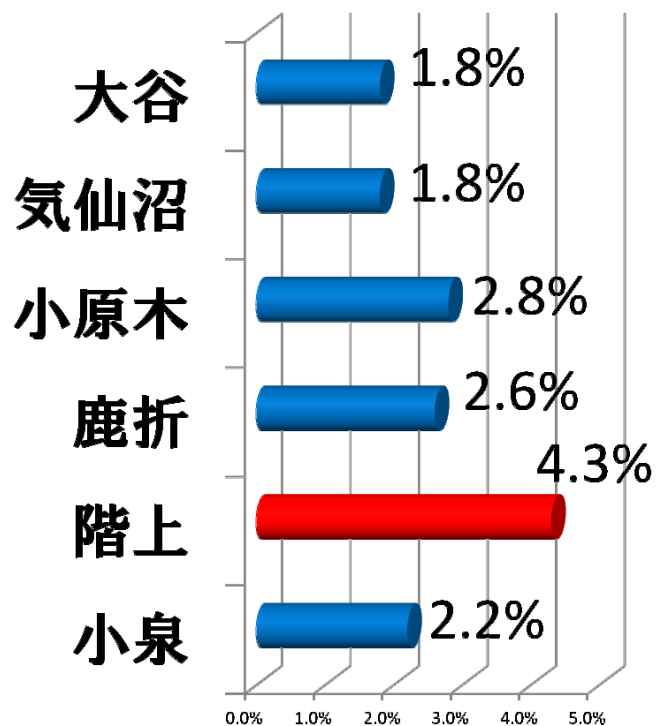
★85世帯中81世帯が流失  
★93人が犠牲



気仙沼市の  
地域別家屋被害率



気仙沼市の  
地域別犠牲者比率



なぜ津波犠牲者の割合が高かったのか  
～危機意識の問題？～

【被災者の声から】

- ・津波が来ても大したことないと思っていた。
- ・これまで津波がここまで来たことがなかったの  
で自分の家は大丈夫だと思っていた。
- ・海がこんなに近いとは思っていなかった
- ・津波が来たら逃げようと思っていた。
- ・逃げなくても何とかかなると思っていた。 など

なぜ津波犠牲者の割合が高かったのか  
～認識不足等の問題？～

【被災者の声から】

- ・居住地の海拔を認識していなかった。
- ・過去の津波被害を正しく認識していなかった。
- ・津波を甘くみていた。(勝手な思い込み)
- ・自分で判断せず、周りを見て判断してしまった。
- ・いざとなったら、車で逃げれば大丈夫だと思っ  
ていた。 など

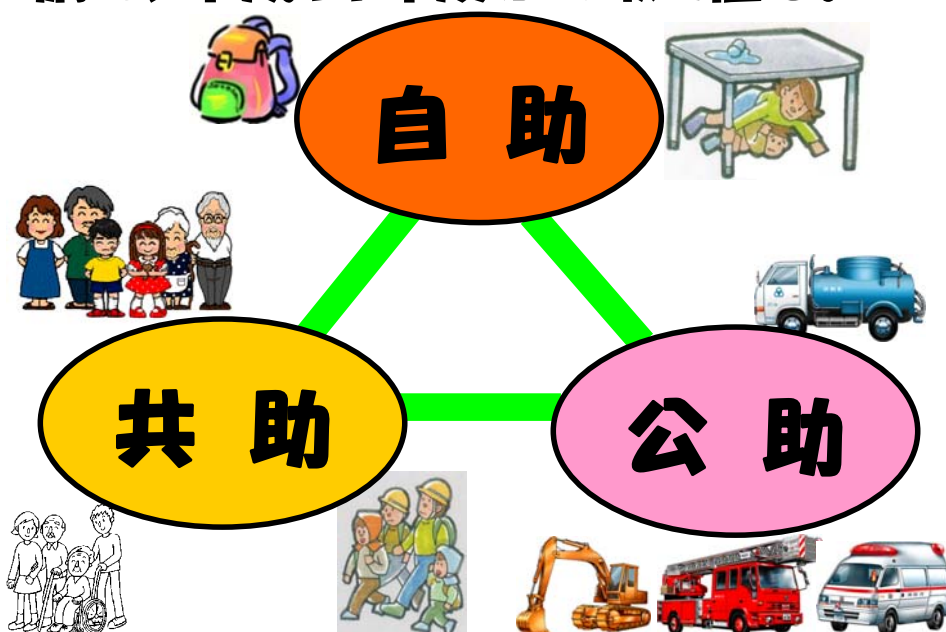
## なぜ津波犠牲者の割合が高かったのか ～家庭の事情？～

### 【被災者の声から】

- ・家族を心配して家に戻った。
- ・家族が仕事先から家に戻るのを待っていた。
- ・避難の途中、大切な物を取りに戻った。
- ・老人がいたので、車で避難して渋滞に巻きこまれた。
- ・家の近くにある「市が指定した避難所」であれば津波が来ても大丈夫と思っていた。 など

## 震災前の防災学習

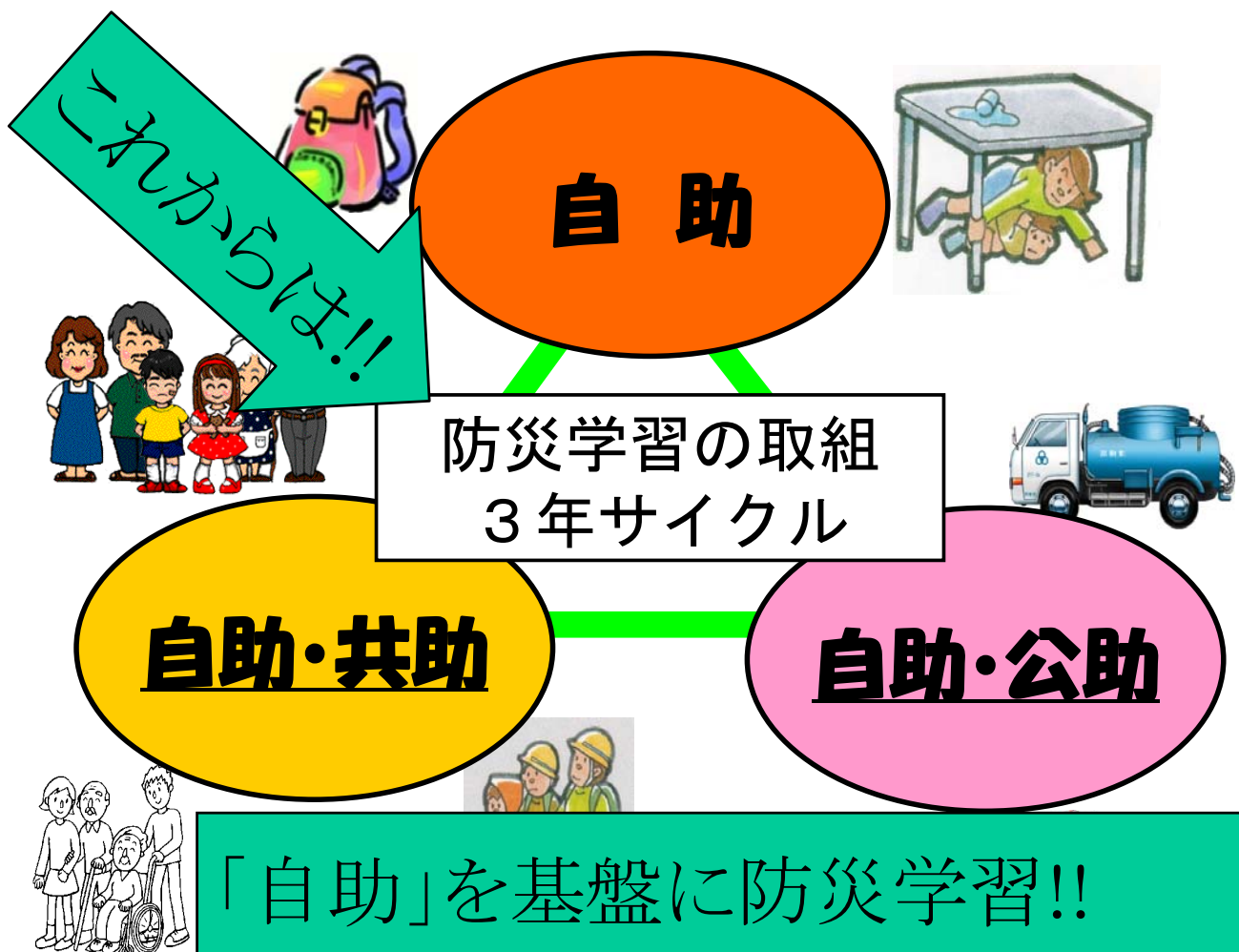
○発生が确实視されていた宮城県沖地震津波に備え、平成17年度から取り組む。



# 防災学習の見直し

1. 防災意識も低くはなかったのに**多くの地区民と卒業生3名が犠牲**になってしまった。
2. 生徒が学校にいる時間は1日の3分の1程度であり、**多くの時間を地域や家庭で過ごす**。
3. すでに「千年に一度の大災害はしばらく来ない」とか「今回大丈夫だったので次も大丈夫」という「**風化**」とも**思える声**が聞かれる。

➡ 正常化の偏見(バイアス)?



今年度のテーマは・・・



**自助・共助**

～「知る」「備える」「行動する」～

「知る」 : 正しい知識と技能を身につけておかなければ、いざという時に的確な判断ができない。

「備える」 : 正しい知識を得て、どんな備えが必要かを考え、日頃から準備しておく必要がある。

「行動する」 : 頭で理解しただけでは行動に結びつかない。  
訓練でできないことは本番でもできない！

## 平成24年度 具体的な取組

**自助・共助**

- 仮設住宅居住者との合同避難訓練
- ショート避難訓練
- 学年毎防災体験活動
- 各自治会による一次避難訓練
- 避難所設営訓練
- 防災学習発表会
- 防災詳細マップ， 海拔表示づくり



## ○仮設住宅居住者との合同避難訓練



## ○緊急地震速報を活用した ショート避難訓練



## ○学年毎防災体験活動

**第1学年**  
〈津波体験館見学〉



**第2学年**  
〈応急手当・救命講習〉



**第3学年**  
〈小学生への防災啓発活動〉



# 手作りカルタ(原本)

**防災委員会よりお知らせです。**

防災委員会では、中学生の防災意識の向上を目的として、「防災標語」の募集を行います。そしてその基盤に基いて「防災カルタ」を作成し、小学生にも遊びを通して防災について学べる教材をつくろうと計画しています。ぜひ皆さんのアイデアを取り入れたいと思いますので、標語の募集にご協力ください。

**絵札**

標語のイメージイラストを描いてください。  
(色もつけてください)

3年2組 16番 氏名 鈴木 菜

**読み札**

る  
すばん中  
地震が起きたら  
すぐにげる

標語を大きな文字で記入してください。

7月18日(水)の朝の会までにクラスの防災委員まで提出

**防災委員会よりお知らせです。**

防災委員会では、中学生の防災意識の向上を目的として、「防災標語」の募集を行います。そしてその基盤に基いて「防災カルタ」を作成し、小学生にも遊びを通して防災について学べる教材をつくろうと計画しています。ぜひ皆さんのアイデアを取り入れたいと思いますので、標語の募集にご協力ください。

**絵札**

標語のイメージイラストを描いてください。  
(色もつけてください)

3年2組 9番 氏名 藤原 菜

**読み札**

ぬ  
げないで  
走り続けよう  
高台へ。

標語を大きな文字で記入してください。

7月18日(水)の朝の会までにクラスの防災委員まで提出してください。

## ※階上中学校区防災教育推進委員会





# 地域との連携

## 地区全体で体制整備

階上中 学校区 防災教育推進委を設立

災害に強い地域づくりを目指す、気仙沼市階上中学校区に9日、防災教育推進委員会が設立された。今後、仮設住宅を含む全域で、危険箇所の把握や避難訓練などを行い、地区全体の防災力の向上を図る。11月上旬には総合防災訓練で自助、共助の体制を確認する。

## 震災教訓に地域づくり



階上地区は防災教育を階上中学校を中心とした。これまでは中学校に熱心に取り組んでい、防災訓練を行って、校周辺の一部地域だけの参加だったことから、地区全体で防災意識の高揚を図ろうと、今回、推進委員会が設立された。委員会は各自治会長、防犯協会、消防などとの関係機関で組織。地区ごとの危険箇所の把握や災害発生時に、自助・共助ができる体制を整えることも、今後の自治会ごとに、同校の防災教育に協力する。1次避難場所への避難訓練から反省点を洗い、参加した自治会長か

らは今後の活動に向け、「東日本大震災時の避難行動を検証しながら進めた方がよい」「地区ごとの過去の被害、海抜などの情報を共有すべき」「夜間や休日など最悪を想定した」などの意見が出された。

# ○各自治会との合同一次避難訓練①



2012/10/05 09:38

# ○各自治会との合同一次避難訓練②



## 地域との連携

ら情報や  
載(私の3・  
も受け付け  
ます。  
(23)3254  
(23)6780

### リクス

河北新報気仙沼地域版

気仙沼市新町1-11  
三陸河北新報気仙沼支社  
電話 0226(23)3254  
FAX 0226(23)6780  
kesennuma@sanriku  
kahoku.com

## 防災、地域共助で

### 復興支援街灯

筑波大生が考案、4種類

気仙沼市中心街「

### 階上中と自治会連携

きょう全域で避難訓練

て、小学生に災害の正しい知識を身に付けてもらう  
体での防災活動が展開される

階上は、東日本大震災の経験を生かして、学校だけの防災教育には限界がある。階上では、災害時の避難誘導に協力する「防災隊」を組織し、地域住民と連携して防災活動に取り組んでいる。階上では、小学生に災害の正しい知識を身に付けてもらうための防災活動が展開される。

階上は、東日本大震災の経験を生かして、学校だけの防災教育には限界がある。階上では、災害時の避難誘導に協力する「防災隊」を組織し、地域住民と連携して防災活動に取り組んでいる。

# ○避難所設営訓練①



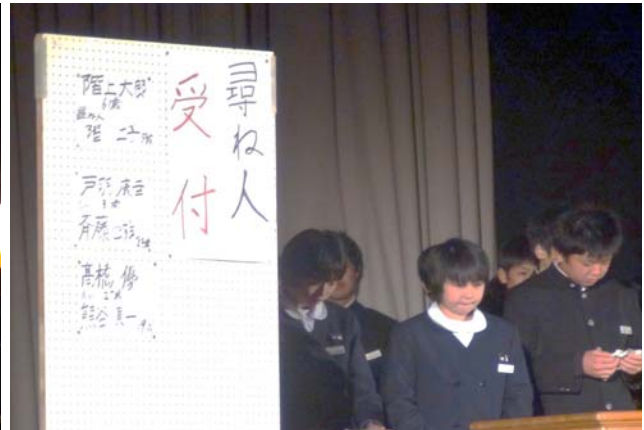
# ○避難所設営訓練②



# ○避難所設営訓練③



# ○防災学習発表会



# 12月7日17:20頃 津波警報発表



# 12月7日17:20頃 津波警報発表



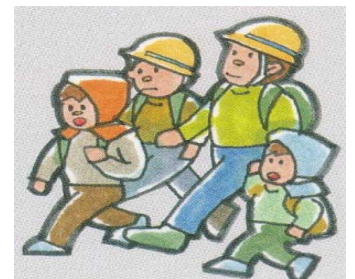
# ○標高調査!!防災マップ作成!!



## 今後の課題



- ・ 実効性のある防災学習
- ・ 地域との連携継続
- ・ 風化防止の方策



防災教育チャレンジプラン最終報告会発表資料

私たちは未来の防災戦士

宮城県気仙沼市立階上中学校

ありがとうございました